

ひろば

号外

2011年
12月7日
〈発行〉
日立 懇小田原地区
「ひろば」
編集委員会
TEL「気付」
0465 (37) 4426

労働問題の相談は
電機ユニオンへ
神奈川支部
080-5060-7728
(中村)

国際経済ルールにそったEUの判断

EUの欧州委員会は11月23日、WDの日立GST買収について3.5インチHDD部門を第三者に売却する条件で認めると発表しました。

競争法（日本では独禁法にあたる）で独占を認めないEUの姿勢は国際経済ルールにそったものであり、WDとHGST合わせて80%とも言われる市場占有率は異常なものとして排除することは当然とも言える判断です。

HDD安定供給は日立製作所にとっても重要課題

「ひろば」194号でも述べましたが、タイ洪水によるHDD不足は深刻です。いまやHDDは各種産業でつかわれており、日立製作所RAID事業部でも心臓部として使われています。一極集中せず、日本に生産拠点を確保することは、日立製作所にとっても安定な生産のために重要な課題の1つです。

大企業の社会的責任として日立製作所が買戻せ

どのような買手がつかどうか分からない不安定な状態に従業員をおくことなく日立製作所が買戻し、従業員の生活を保障することが社会的責任のある大企業のとる道です。

組合はただちに職場集会等を開き

組合員・従業員の声を集め団体交渉等で日立GSTと日立製作所に要求せよ

11月21日、日立で働く有志は、日立労組本部に今回の日立GSTのWD社売却をめぐる問題について要請書（裏面）を提出して、本部の積極的な取組を要請し、本部側でも職場集会の開催を含め取組の強化を約束しています。

日立GST労組は日立がWD社から3.5インチHDD部門を買い戻すことなどを含め、組合員の声を集め日立GSTと日立製作所に強力に交渉するなど、今こそ組合の指導力を発揮するときです。

日立懇ホームページ

パソコン <http://www.hitachikon.net/>

ケータイ <http://www.hitachikon.net/i>

